



平成 27 年度予算編成について

本日、「平成 27 年度予算編成方針」を庁議において各部局長に示し、新年度当初予算編成作業を本格的に開始した。

1 予算編成の基本的な考え方

- ・ 新幹線開業に向けた都市基盤整備などに一定の目途がつくことから、新幹線開業後の「未来高岡」の実現に向け、都心エリアの拠点性向上やシティプロモーションなど、戦略的なハード・ソフト事業に集中的に取り組み、都市の総合力と求心力を更に高めていく。
- ・ また、人口減少社会における地域の活力創造に向け、「住まい」「働く場」「子育て」の 3 本柱に「若者」と「女性」の視点を取り込み、新たな魅力を創出していく。
- ・ 本市の財政状況は、歳入では、平成 27 年度も固定資産税をはじめとし、市税の減収が見込まれており、歳出では、公債費が増加傾向にあることや、各種福祉施策の対象者の増加に伴い扶助費の増加が見込まれており、財源の確保は極めて厳しい状況にある。
- ・ これらを踏まえ、時代に即した施策を戦略的に展開するとともに、行財政改革を一層推進することで、未来高岡への布石となる施策・事業の選択と集中を進める。

2 平成 27 年度予算編成の特徴

(1) 部局主体での重点的・戦略的な市政の推進

- ・ 各部局において幅広い視点で政策実現に向けた戦略を考え、新たな課題に積極的に対応する。

(2) 部局別枠配分予算編成の実施

- ・ 部局別枠配分予算編成を実施する。
- ・ 義務的事業（人件費等）、投資的事業（建設事業費等）等を除く事業について、部局毎に一般財源を予算要求枠として配分する。

《期待される効果》

- ・ 各部局職員のコスト意識、経営感覚の醸成、政策形成能力の向上
- ・ 部局における施策目標の明確化
- ・ 市民に最も近い担当部局による事務見直しの推進
- ・ 予算の重点化、効率化

(3) 持続可能な財政構造の構築

- ・ 「市債発行額 ≤ 償還元金」の厳守
- ・ 市単独補助金の見直し（一般財源ベースで原則 10%削減）

3 予算の重点事項（政策コンペティションの実施）

- ・ 総合計画第2次基本計画に掲げる「高岡新世紀創造プロジェクト」の実現に向け、特に平成27年度において集中的に推進する施策等について、各部局から新規・拡充事業の提案を求める。
- ・ 規模は、総額2億円程度とする。

《重点事項》

新幹線開業後の「未来高岡」の実現に向け、人口減少社会における活力創造を戦略的に推進するため、次のテーマを設定し、施策を展開する。

◎未来への『投資』

- ① 「人」
- ② 「都市機能」
- ③ 「まちの魅力」

[参考：予算編成日程]

10月1日（水）	予算編成方針通知
11月上旬	予算要求書の提出
1月中旬～1月下旬	政策コンペティション・市長査定
2月中旬	予算（案）の発表

担当：経営企画部 財政課（電話 20-1245 内線 314）